



手打ちうどん作り特集

座間市適応指導教室「つばさ」との交流会

10/10(火) あすなろの家には、市のマイクロバスにて「つばさ」の子供達9名と、関係者(先生・ボランティア)9名がやって来て、いつものメンバー3名、他数名の子供とお手伝い含めたスタッフ等総勢51名が集まりました。暑いほどの秋晴れの元でにぎやかなうどん作りになりました。

1、あすなろ農園見学

畑の説明、足踏み脱穀機・耕運機・落花生の収穫等の体験をしました。子供たちの歓声、カエルやミミズを見て悲鳴をあげる女の子達等、四ツ谷の自然に浸りいきいきとした表情が見られました。



2、うどん打ち実習

あすなろ農園で収穫した小麦粉を使って、うどん打ち名人 B さんの巧みな指導でうどん打ちの実習が始まりました。畑で取れた野菜の天ぷらも加わり待ちに待った試食です。

自分で作ったうどんは格別です。



のばすのはむずかしいな~!

3、食後の散策

お腹も一杯になり、近くをみんなで散策しました。座間で寺子屋を開設した「安田安兵衛」の墓碑などがある浄土寺。百年はとうに過ぎたと思われ、歴史を重ねうっそうと茂る大きな立ち木が並び、心地よい風が吹いてとっても落ち着き気持ちよかった日枝神社。昔はシジミが取れたと言われ、今もまだ沢山の殻が残っていて、ザリガニの子もあちらこちらで見られる用水路の「シジミツ川」等を見ながら座間と海老名の境である鳩川まで歩き戻ってきました。

(あとのおやつはうまかったでしょう)



参加者のほとんど全員がうどん作りにチャレンジしたことが何よりで、皆、夢中で楽しんでいたようです。25キロ近くの小麦を手打ちにしたことになりませう。

「つばさ」と初めての交流会でしたが、珍しい体験に歓声を上げ、いきいきとした表情に押し、やってよかったとの思いと今後への夢を持ちました。

